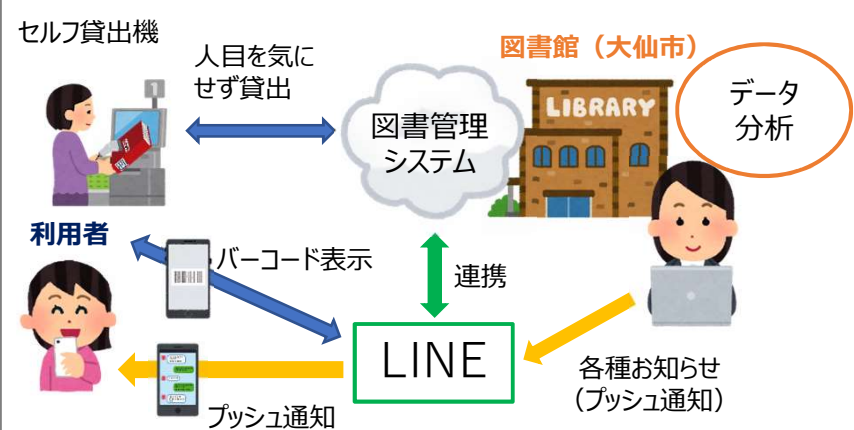


自治体名	秋田県大仙市	人口	73,876人	事業費	4,520千円
事業概要	<p>図書館の利用者のボリュームゾーン＝高齢者であり、デジタル化の恩恵を感じづらい世代となっている。こうした世代でも比較的利用が進んでいるLINEを利用することにより、誰も取り残さない、みんなが使えるデジタル化を目指す。具体的には、LINEと図書館システムを連携し、図書館利用カードの表示、予約の本、返却期限の連絡などを行えるようにするほか、図書館からのきめ細かな情報発信を行う。また、セルフ貸出機を配置することにより、よりプライバシーに配慮したサービスが受けられる。</p>				
<p>【LINE連携】 現在は紙のカードで貸出を行い、予約については電話またはメールで連絡を行っている。返却期限については貸出時に印字されるレシートで確認するしかない。 LINE連携により、利用カードのバーコード表示のほか、利用者への様々な連絡や、情報発信が可能となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約資料の連絡 ・返却期限の連絡 ・図書館のイベントのお知らせ 等 <p>【セルフ貸出機】 現在は対面での貸出のみとなっているが、セルフ貸出機の導入でバーコードを読み取り、対面なしで借りることができる。</p> <p>LINE連携の機能を追加することにより、手軽に図書館の情報にアクセスでき、カードレスで貸出ができる。利用者の利便性向上を実現。あわせて、電話連絡の回数や窓口対応の回数を削減し、図書館職員の業務負担の軽減も図る。</p>	 <p>なくなっ<u>て</u>うれしい♪こんなことあんなこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 借る本を見られる × カードをなくす × (本にはさんだまま) 電話連絡 × (落とした) 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①LINE連携した利用者の人数 ②セルフ貸出機での個人貸出冊数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①LINE連携のサービスの満足度 ②セルフ貸出機の利用者の満足度 		